

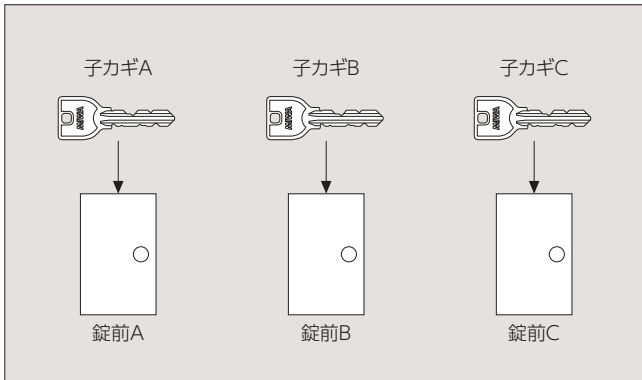
キーシステム

錠前の
基礎知識

■キーシステムにはいろいろな種類があります。これらのキーシステムを組み合わせ、目的に応じたキー管理システムをお選びいただけます。

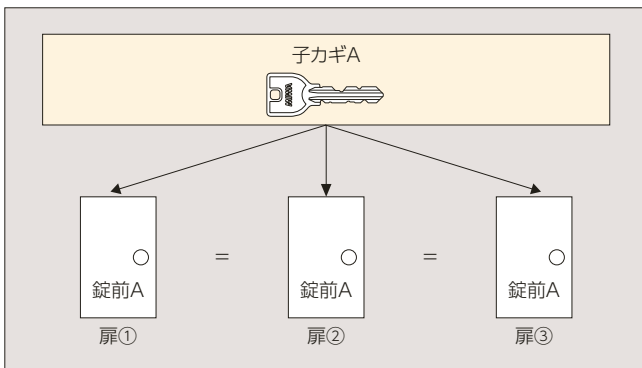
1. 単独キー (Keyed Different)

すべての錠前が、おのおの個々のキーを有し、共通のマスターキー (M.K.) を持たないものを単独キーといいます。標準で3本付きます。



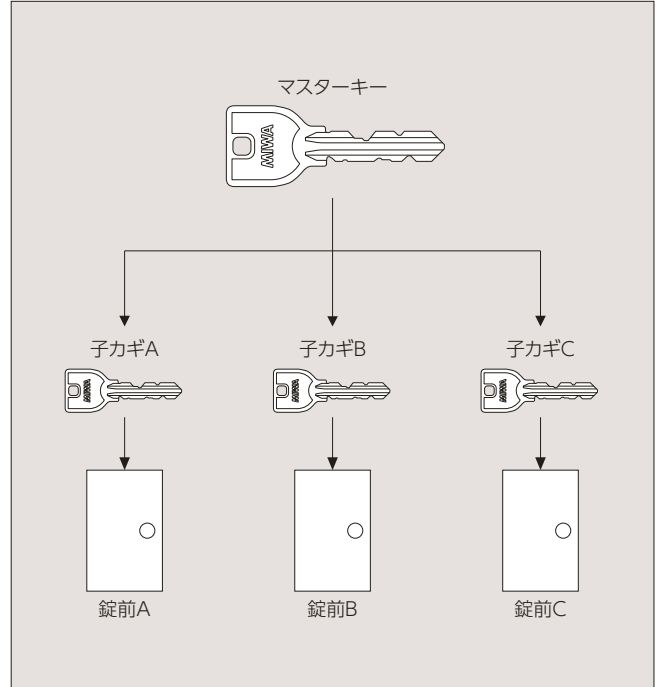
2. 同一キーシステム (Keyed Alike)

いくつかの錠前のシリンダー構造 (=キーナンバー) を同一のものとし、そのグループのどの子カギでも施解錠できるシステムです。



3. マスターキーシステム (Master-Keyed = M.K.)

複数の異なる錠前を1グループとし、そのグループ内の錠前を別の1本のキー (マスターキー=M.K.) で施解錠できるシステムです。工事全体で3本付きます。

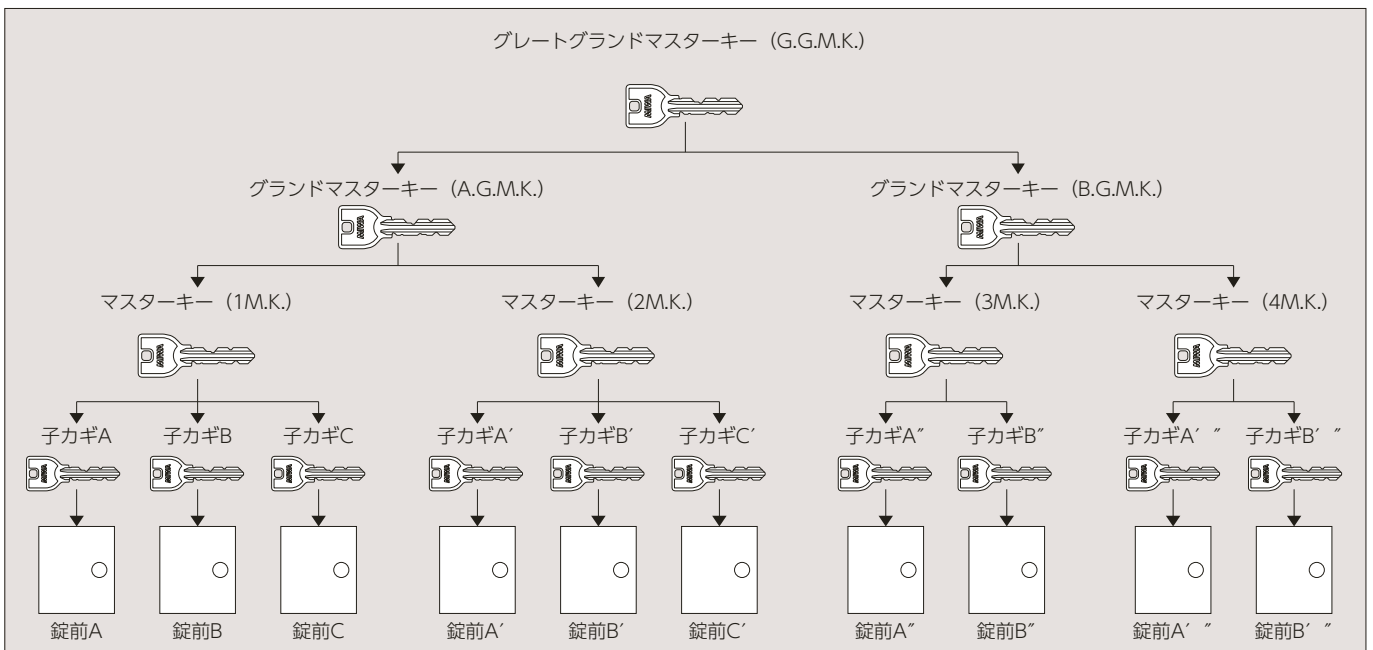


4. グランドマスターキーシステム (Grand Master-Keyed = G.M.K.)

異なるマスターキーシステムを備えた複数のグループの錠前を、別の1本のキー (グランドマスターキー=G.M.K.) で施解錠できるシステムです。工事全体で3本付きます。

5. グレートグランドマスターキーシステム (Great Grand Master-Keyed = G.G.M.K.)

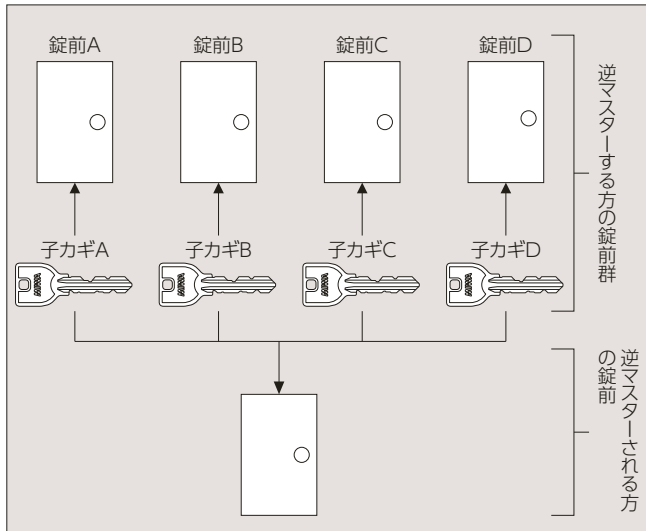
異なるグランドマスターキーシステムを備えた複数のグループの錠前を、別の1本のキー (グレートグランドマスターキー=G.G.M.K.) で施解錠できるシステムです。工事全体で3本付きます。



※具体的キープランはマスターキーシステム例 (P72~75) をご覧ください。

6.逆マスターキーシステム (R.M.K.)

いくつかの錠前を1つのグループとし、それぞれの錠前の子カギが特定箇所の錠前を施解錠できるシステムです。この場合、そのグループに属する錠前群を逆マスターする方と呼び、特定箇所の錠前を逆マスターされる方と呼びます。



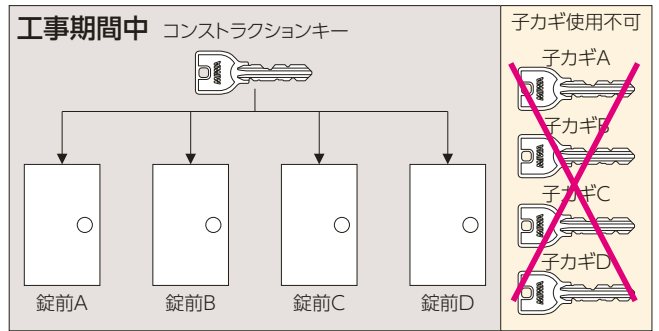
7.マルチマスターキーシステム (Multi Master-Keyed=M.M.K.)

特定箇所の錠前が、複数の異なるマスターグループのマスターキーや各子カギで施解錠される場合、このシステムをマルチマスターキーシステム (M.M.K.) と呼びます。この場合、マスターキーや子カギ群をマルチする方と呼び、施解錠される特定の錠前群をマルチされる方と呼びます。

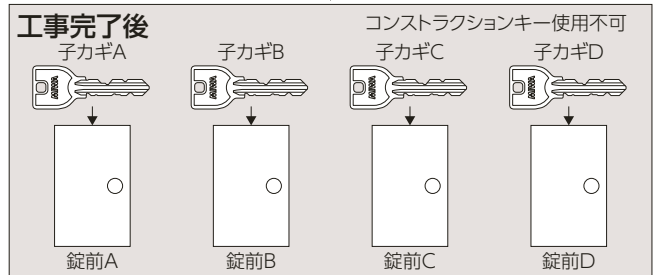
8.コンストラクションキーシステム (C.N.K.)

工事期間中に使用するキーをコンストラクションキーといい、このキーで建物すべての錠前を施解錠することが可能です。工事完了後、コンストラクション装置 (シリンダー内部に設置されている) を解除することにより、コンストラクションキーが使用不能となり、おのおのの錠前のキーでのみ施解錠されるようになります。工事全体で3本付きます。

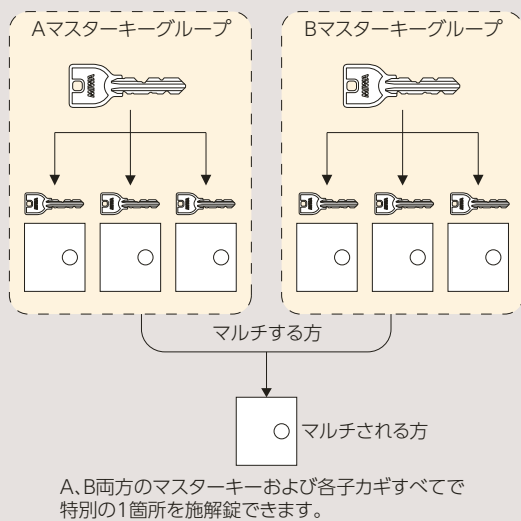
(注) BMシリーズのコンストラクション装置の場合は、同装置を解除した後は非常開装置で解錠できるようになります。



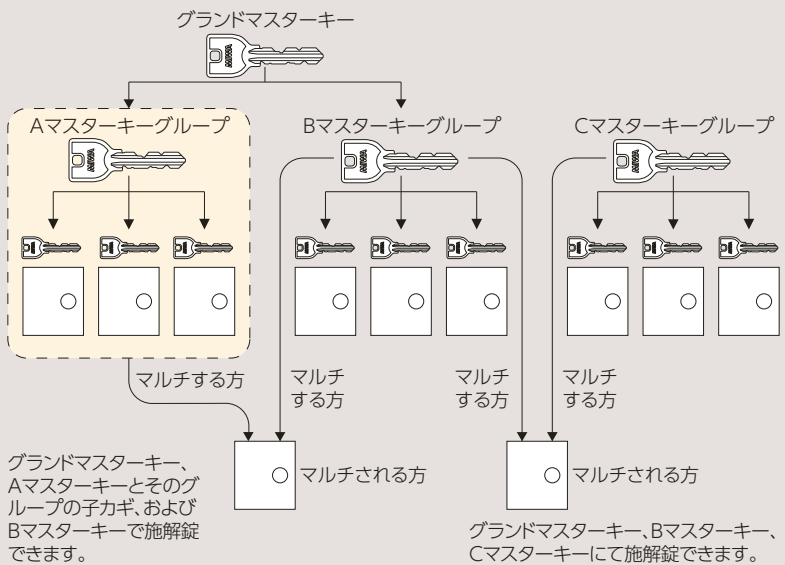
↓
コンストラクション装置の解除



(イ) 簡単なマルチマスターシステムの概念



(ロ) 複雑なマルチマスターシステムの概念



※マルチマスターキーシステムは複数のマスターキーや子カギが相互に関係しますので、マスターキーの紛失には特にご注意ください。